

日本データマネジメント・コンソーシアム
(Japan Data Management Consortium)

2024/5/17

2024年度JDMC総会

FY24 エントリー研究会 ・コミュニティのご紹介



JDMC研究会企画部会 リーダ
株式会社NTTデータ バリュー・エンジニア
池田 信威 (Ikeda Nobutake)

日本データマネジメント・コンソーシアム
Japan Data Management Consortium [JDMC]

1. FY24 エントリー研究会のご紹介



※FY23との変更点を赤字で記載

テーマ1

AI・データ活用のための
コンプライアンス
研究会

SBIホールディングス
佐藤 市雄

テーマ2

データマネジメントの
価値研究会

調整中

テーマ3

MDMとデータ
ガバナンス研究会

NTTコム オンライン・マー
ケティング・ソリューション
水谷 哲

テーマ4

データドリブン経営
研究会
~分散型組織のアプローチ

アビームコンサルティング
中村 大輔

サブタイトル新規追加

テーマ5

生成AIによるデータ
管理研究会

メタデータ
野村直之

「生成系AIを活用したデータ管理・ク
レンジング研究会」よりテーマ名変更

テーマ6

非財務（ESG）
データのマネジメント
（サステナビリティデータ
活用）研究会

富士通
永野友子

テーマ7

ウェルビーイング視点
でのヒトとAIのデータ
相互活用研究会

NECソリューションイノベータ
羽田 亨

FY24新規研究会

研究会からコミュニティへ

発生なし

テーマ1 AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会



テーマ1

AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会

SBIホールディングス
佐藤 市雄

初級

中級

上級

AI・データ活用の拡大に伴う倫理的課題や今後のビジネス拡大のためのつまずきポイントや解決策に向けた解決策についてディスカッションと2022年に出版した倫理フレームワークの深掘りと、浸透、実務への適応に取り組む研究会です。

- AI・データの利活用、パーソナルデータ活用、外部データ活用、データエクスチェンジを初めようとする方、推進中、実施中の方、興味がある、重要だと考える方
- AI・データについての契約・コンプライアンス・個人情報保護に悩んでいる実務者、法務担当者、一緒に研究いただける法務関係者
- AI・データにおける倫理について興味のある方

2022年3月14日 日経BP社より発売



「倫理フレームワーク」における、合否基準の押さえ方

- ① 「つまずきポイント」のチェック項目ごとに、この両端の状態として **問題のない状態** と **問題のある状態** を倫理フレームワークにて定義
- ② チェックしたい案件について、各チェック項目ごとに、**近い状態の方に(2択で)印をつけ、そのように判断する理由を記す**
- ③ 倫理フレームワークでは、案件の2つの要素によって **推奨されるレベルをガイド** (ガイドされたレベルと、記入した印が異なる部分に注意していく)

データの取得

取得するデータに **機密性の高い情報** が含まれると、問題を起すリスクが高まっていく

データの活用

人や社会に対する **影響度に大きい** データ活用であると、問題を起すリスクが高まっていく

X つまずきポイントチェックリスト

機密性/影響度 を選択すれば、自動的に推奨レベルをガイド

テーマ2 データマネジメントの価値研究会



テーマ2

データマネジメントの
価値研究会

調整中

初級

中級

上級

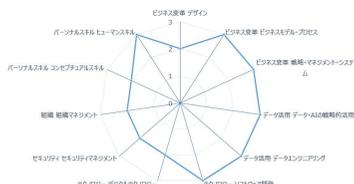
データマネジメントの価値創出に向けて研究会メンバーの会社で発生している個々問題の背景、状態、根本原因に着目し、その攻め方、実践の取り組み方、巻き込み方についての仮説、検証よりノウハウをまとめる研究会です。

- 通年、月一回の定例研究会に参加できる方
- データマネジメントの価値創出を通じて組織の意識を変えたいビジネスリーダー
- グループ会社や海外事業会社を巻き込んだデータマネジメント展開と企画を考えているビジネスリーダー
- 経営に対してデータマネジメントの価値創出について進言をする立場のビジネスリーダー



どのようなスキルを保持した人材のアサインが必要か？

スキルカテゴリー別
必要成熟度レーダーチャート



スキル別
実践アクティビティ数

必要スキル	関連アクティビティ数
顧客・ユーザー理解	3
データ理解・活用	5
データモデリング	3
データ活用基盤実装・運用	3
プロジェクトマネジメント	3
変革マネジメント	4

テーマ3 MDMとデータガバナンス研究会



テーマ3

MDMとデータ ガバナンス研究会

NTTコム オンライン・マー
ケティング・ソリューション
水谷 哲

初級

中級

上級

非公開のサロンとしてMDM (マスターデータマネジメント)およびデータガバナンスの事例や理論から管理手法、テクノロジー、哲学に至るまで語りあい学ぶ場です。苦労話や自慢話、技術紹介やソリューション紹介(宣伝可)など月一回で共に学び、討議、語り合う研究会です。

- MDM・データガバナンスのキーワードの話題でいろいろ勉強したい人
- MDM・データガバナンスについて実践・理論・異論を語りたい人
- 関連する製品の紹介をしたい人 (飛び入り可)
- 直接の関心はないが、ITにとってMDM・データガバナンスが重要だと考える人

1. MDMサロン：みんなの情報交換

基本クローズドな環境で、公式には交換できないような体験・事例・技術・製品をふくめた情報共有し、ディスカッションします
話題はいわゆるMDMに閉じません。これまでもノーコードツール・SCMソリューション・APIツール・反社チェックなどを違和感なく取り入れてきました

2. MDMテーマ：議論と切磋琢磨

本質を問う議論 (MDMとは、メタデータとは)、テクニック論 (名寄せとは、データモデリングとは)、方法論 (EA:エンタープライズアーキテクチャとは、成熟度とは)、社会問題 (ESG・生成AIとMDM)など、研究会のファシリテーションのもと議論し知見を得ます

テーマ4 データドリブン経営研究会～分散型組織のアプローチ



テーマ4

データドリブン経営
研究会
～分散型組織のアプローチ

アビームコンサルティング
中村大輔

初級

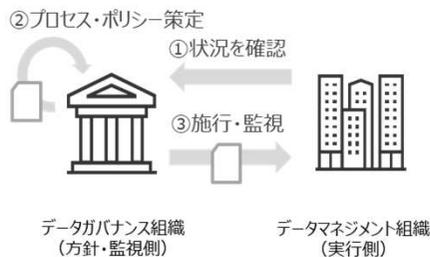
中級

上級

企業がデータドリブン経営を進める上での課題について、各自の経験談や有識者の知見を持ち寄り、最適な解決案を共に考え、学び合う研究会です。

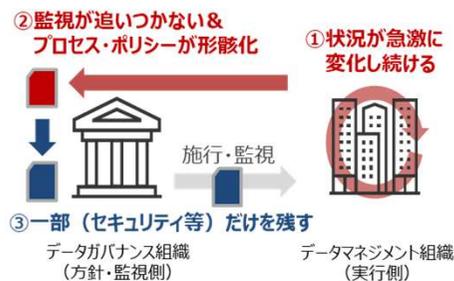
- データに関わる仕事をされている方
- Data Meshについて学びたい事業会社の方
- データ利活用組織の設計に悩まれている事業会社の方
- Data Meshを実現するためのアプローチを持つ製品・ソリューションベンダーの方
- データ戦略・データマネジメント戦略策定をオフリングに持つコンサルタントの方

①最初は尽力する（ただし一度きり）



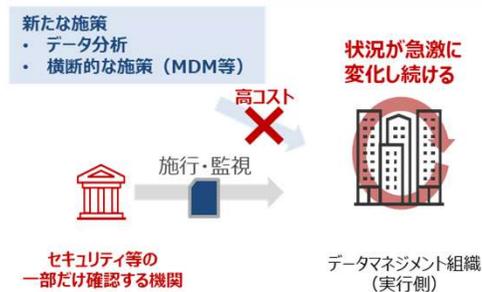
- ビジネスアジェンダと整合したデータ戦略・データマネジメント戦略策定
- プロセス・ポリシー策定
- 実行側に施行・監視

②状況の変化に耐えきれず苦肉の策



- ビジネス・法の変化、システム・データの変化
- 監視側と実行側のスピード感が合わなくなり、プロセス・ポリシーが形骸化
- 方針は実行できる部分だけが残る

③制御不能、高コスト体質に



- データガバナンス機能が完全に形骸化
- 実行側が日々カオスな状態に
- 施策を実施するとデータ品質問題が多発するが、根本原因にリーチできない状態

テーマ5 生成AIによるデータ管理研究会



テーマ5

生成AIによる データ管理研究会

メタデータ
野村直之

初級

中級

上級

生成AIを用いたデータ加工（含、クレンジング）、管理、分析の実践的研究成果や耳よりな情報を持ち寄り、共有する研究会です。

- エンジニア経験からビジネス企画、マーケティングへとキャリア、スキルを開拓する猛者。
- 生成系AIを活用したデータ管理・クレンジングの実践を志す方。
- 生成系AIの活用のメリットを享受したい全ての方。

第8回 01/19 2024年:生成AIでデータ管理を高度化11よりご紹介

【テーマ5】2024年は生成AIで「データ」が変わる年に：その11の予測



ChatGPT自身の読み解き



■ 2024年は生成AIで「データ」が変わる年に：その11の予測

1. リレショナルはSQLから脱却する: IoT、エッジ、AIにまたがるデータベースが必要だ
2. ベクトル・データベースが最も求められる技術になる: LLM活用、類似性検索にベクトル・データベースが重要になる
3. 企業データレイクがLLMの金のなる木になる: LLMとAIで 非構造化データのマイニング
4. AIを活用するだけの自動化ができていない企業は火傷する: **ガバナンスを持たない 悪いデータが、生成AI精度の低下に苦しむ**
5. データパイプラインが最適化される: クラウドコスト削減
6. インテント・データは市場開拓チームの必需品になる: 顧客のニーズ予測はますます不可欠に。
7. **データチームとビジネスチームは、AI製品のオンボーディングで協力するようになる: クリーンなデータセットはAIの基盤**
8. 企業はリアルタイムとAIのダブルパンチを受ける: リアルタイム分析はコーディングすることなくインテリジェンスを得る
9. ナレッジグラフは、ユーザーがデータのサイロ化を解消するのに役立つ: クラウドのデータ・サイロをナビゲートする言語モデルはナレッジグラフ・ベースのAI
10. AIがデータ管理のアプローチを変える: 個人情報や知的財産を保護しつつ使用するデータ管理ソリューション進化
11. **チーフ・データ・オフィサーはCIOの必須条件**となる: データ活用で CIOのニーズでCDOキャリアパスが有利に

Copyright 2024 Japan Data Management Consortium

テーマ6

非財務（ESG）
データのマネジメント
（サステナビリティデータ
活用）研究会

富士通
永野友子

初級

中級

上級



2050年のネットゼロ達成に向け、ESG投資加速と共に、欧州では企業サステナビリティ報告指令（Corporate Sustainability Reporting Directive：CSRD）によるサステナビリティ報告を財務報告レベルにしていくことやデータタグ付けなどが求められる現状を踏まえ、企業においてそれらのデータ公開に関する課題や課題解決に関する研究、そして、成果の共有と普及活動を行う研究会です。

- 経営企画部門など、非財務情報開示に関心を持つビジネスリーダー
- データ利活用を含めたSXを推進しようと考えているデータサイエンティスト

ネットゼロ：
2015年のパリ協定で示された目標

- ⇨ 2050年までに世界の平均気温の上昇を1.5℃に抑える
- ⇨ 2050年まで炭素排出量（温室効果ガス）を差し引きゼロにすること

<https://emira-t.jp/pedia/18382/>

CSRD

企業サステナビリティ報告指令

EU域内の全ての大企業

EU域内市場の上場企業（零細企業は除く）

第三国に親会社があるEU域内子会社

EU域内の売上高が大きいEU域外の企業

<https://www.jri.co.jp/page.jsp?id=105089#>

テーマ7 ウェルビーイング視点でのヒトとAIのデータ相互活用研究会



FY24新規研究会

テーマ7

ウェルビーイング視点
でのヒトとAIのデータ
相互活用研究会

NECソリューションイノベータ
羽田 亨

初級

中級

上級

FY24新規研究会

人の**ウェルビーイング**※関連データを**行動や振る舞い**からデジタル的に**取得**し、そのデータを活用して**フィードバック**することでウェルビーイングの実現に近づける方法を、デジタル接点や**データ解析**、**AI活用手法**を用いて考える研究会です。

- 小売業、製造業など従業員のウェルビーイング、および、経営・組織ビジョンに対する従業員エンゲージメント改善等に興味がある方や深堀をしてみたい方
- ウェルビーイングの向上に関わられているコンサルやITベンダーの方

活動内容：

- ウェルビーイングに関連するヒトとのデジタル接点、および、そこで取得できるデータの調査。
- ヒトのウェルビーイングにかかる個性を表現するデータセットを仮説検討。
- データやAIからのヒトへのフィードバック方式の仮説検討。

予定アウトプット：

デジタル接点(エッジ)調査報告

ウェルビーイング関連データのリスト

ヒト（主に従業員）のウェルビーイング
観点個性を表現するデータの仮説

データとAIの適切な組み合わせ仮説

※ウェルビーイング（well-being）：身体的・精神的・社会的にも、すべてが満たされた状態（well-being）にあること。概念的に、「幸福」と翻訳されることも多い言葉。

■ JDMC研究会とコミュニティ

● 研究会一覧(7)

- 1 AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会
- 2 データマネジメントの価値研究会
- 3 MDMとデータガバナンス研究会
- 4 データドリブン経営研究会 ~分散型組織のアプローチ
- 5 生成AIによるデータ管理研究会
- 6 非財務(ESG)データのマネジメント(サステナビリティデータ活用)研究会
- 7 ウェルビーイング視点でのヒトとAIのデータ相互活用研究会(新規)

● コミュニティ一覧(8)

- 1 エンジニアの会
- 2 DM実践勉強会
- 3 データマネジメント座談会
- 4 マーケティングにおけるデータ活用
- 5 IoT・AI活用
- 6 MDM白熱教室(少人数・招待制)
- 7 こちらデータマネジメント室(少人数・招待制)
- 8 オープンデータ活用

研究会の詳細について



https://japan-dmc.org/?page_id=22905

コミュニティの詳細について



https://japan-dmc.org/?page_id=23050

研究会とコミュニティの特徴については[コチラ](#)

Copyright 2024 Japan Data Management Consortium

FY24 研究会への皆様のご参加をお待ちしております



- FY24 研究会の募集期限は、**本日5/23(木)**です
研究会の発足は、5/23終日の時点で**5名以上のエントリー**が必要です

テーマ1	テーマ2	テーマ3	テーマ4
AI・データ活用のためのコンプライアンス研究会 SBIホールディングス 佐藤 市雄	データマネジメントの価値研究会 調整中	MDMとデータガバナンス研究会 NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション 水谷 哲	データドリブン経営研究会 ～分散型組織のアプローチ アビームコンサルティング 中村 大輔
テーマ5	テーマ6	テーマ7	研究会の詳細について
生成AIによるデータ管理研究会 メタデータ 野村直之	非財務 (ESG) データのマネジメント (サステナビリティデータ活用) 研究会 富士通 永野友子	ウェルビーイング視点でのヒトとAIのデータ相互活用研究会 NECソリューションイノベータ 羽田 亨	研究会の詳細について

お申込み先方法については [こちら](#)



FY24新規研究会 https://japan-dmc.org/?page_id=22905

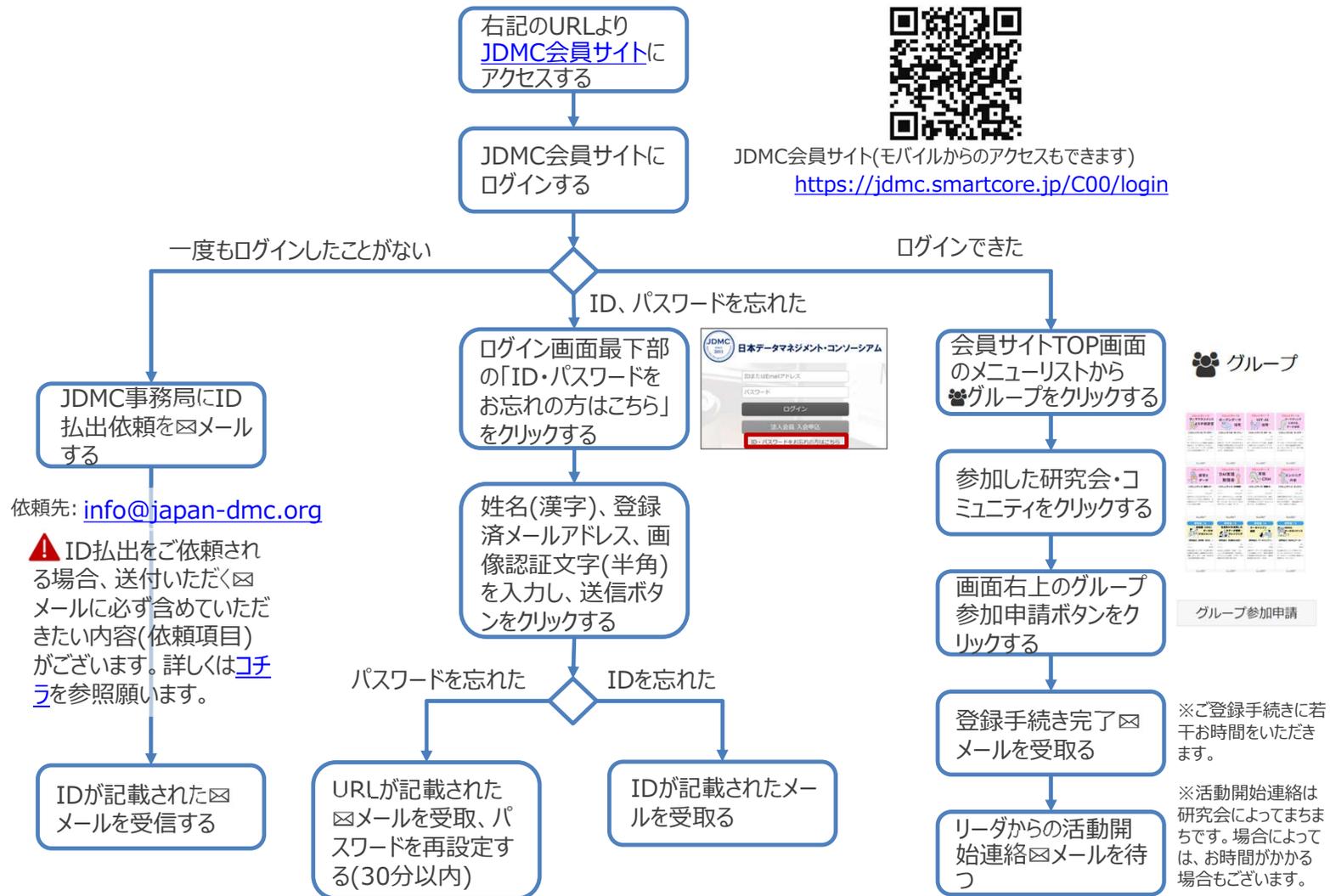
Appendix1. 研究会とコミュニティの特徴



■ JDMC研究会とコミュニティ

	研究会	コミュニティ
主催	JDMC (および、JDMC研究企画部会) ※研究会のリーダー、サブリーダーは自動的にJDMC研究企画部会メンバーとなります	JDMC会員による自主運営
目標設定	<ul style="list-style-type: none">研究会毎に目標設定 (会員から募集したテーマをもとに、JDMC研究企画部会が所管し、テーマ設定)	<ul style="list-style-type: none">グループ毎に目標設定
運営スタイル	<ul style="list-style-type: none">サロン形式ワークショップ形式	<ul style="list-style-type: none">自由討議研修やハンズオン共同作業などの
参加条件	<ul style="list-style-type: none">募集人数制限なしJDMC会員であること	<ul style="list-style-type: none">グループ毎に参加条件が設定リーダーによる招待制のグループもあり
研究成果責任	あり	なし
活動費用補助	あり(上限あり)	なし

Appendix2. 研究会、コミュニティへの参加申し込み方法



■ JDMC会員サイトのID払出依頼メール記載内容

 依頼メールには必ず、以下赤字の内容を含めてください。

依頼先: info@japan-dmc.org

「

JDMC事務局 会員サイトID発行ご担当者様お世話になっております。

xxxx株式会社の〈お名前〉といたします。

この度、研究会・コミュニティへの参加のため、以下の内容でJDMC会員サイトIDの発行をお願いいたします。

〈お名前漢字名〉

〈ふりがな〉

〈ローマ字〉

〈メールアドレス〉

よろしく申し上げます。

xxxx株式会社

〈漢字名〉

」

Appendix4. フォローのお願い



■ 事務局 SNSのフォローをお願いします





日本データマネジメント・コンソーシアム
Japan Data Management Consortium [JDMC]